

全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせします

調査結果の概要

- ★調査の対象学年 県内公立小学校第6学年、中学校第3学年
- ★調査実施日 平成22年4月20日（火曜日）
- ★調査内容



★実施学校数（抽出調査）

		調査実施学校数
小学校	市町立学校	94校
	特別支援学校小学部	1校
中学校	市町立学校	64校
	県立学校	3校
	特別支援学校中学部	2校

- ①教科に関する調査
(国語、算数・数学)
 - 主として「知識」に関する調査 (A問題)
 - 主として「活用」に関する調査 (B問題)
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - 児童生徒に対する調査及び学校に対する調査

★「教科に関する調査」の実施結果の概要

【平均正答率】 [95%信頼区間]
 [95%信頼区間] とは、95パーセントの確率で、全ての学校対象の調査と同様の平均正答率が含まれる範囲をいいます。



	教科等	国語		算数・数学	
		A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」
小学校	滋賀	82.4±0.9%	77.6±1.0%	72.8±1.0%	47.7±1.1%
	全国	83.3±0.2%	77.8±0.2%	74.2±0.2%	49.3±0.2%
中学校	滋賀	74.9±0.7%	64.3±1.0%	66.0±1.1%	44.1±1.4%
	全国	75.1±0.1%	65.3±0.2%	64.6±0.2%	43.3±0.2%

例えば「82.4±0.9」の場合、81.5から83.3が [95%信頼区間] となり、平均正答率が95%の確率で81.5から83.3までの間に含まれることを示します。

課題があるとみられる問題例

正答率：正しく答えた児童生徒の割合 無解答率：答えを書かなかった児童生徒の割合

●中学校国語のBから 資料を作成して発表する(消しゴム)

資料の提示の仕方を工夫し、その方法について具体的に説明することに課題があります。

正答例3 C 私は⑤を使いません。なぜなら、ケースの役割は字が消える仕組みと関係ないと思うので、⑤を使わない方が発表の中心である内容をより明確に説明することができます。(八十一字)

正答例2 B 提示する資料③、④の順番を入れ替えます。なぜなら、資料③と⑤は字が消えることと直接関係がないので、その他の情報として最後に付け加えればよいと思うからです。(七十八字)

正答例1 A 私なら、タイトルを「なぜ字が消えるのか」に修正する。なぜなら、発表することの中心をタイトルで示すと、これから話すことについて聞き手によく分かってもらえると思うからだ。(八十四字)

② 山本さんは、調べたことをまとめて発表する学習に取り組んでいます。提示する資料①から⑤の順番を入れ替える。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

③ 山本さんは、字が消えることを中心に発表しようと思いい、「提示する資料」を修正することにしました。あなたなら、どのよう

④ 修正する方法

⑤ 修正する方法

正答率 43.7%
無解答率 12.5%

この問題を解くためには、収集した情報を話の中心と付け足しの部分とに整理して、伝えたい内容を聞き手に分かりやすく話すよう工夫する必要があります。

●小学校算数のBから 事象の数学的な解釈と判断の根拠の説明(買い物)

割合の考えを基に、数の大小を判断し、その理由を数学的に表現することに課題があります。

⑤ ひろしさんは、買い物に行きました。

(2) ひろしさんは、下のような定価で売られているシャツ、ズボン、くつを1品ずつ買います。

ア

シャツ
定価 1900円

イ

ズボン
定価 3900円

ウ

くつ
定価 5800円

ひろしさんは、右の図のような割引券を1枚持っています。その割引券には、「1品に限り、定価の20%引き」と書かれています。

割引券

1品に限り、
定価の20%引き

シャツ、ズボン、くつのうち、どれに割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きくなりますか。

上のアからウまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。また、その記号の商品に割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きくなるわけを、言葉や式を使って書きましょう。

正答率：13.7% **無解答率**：5.6%

「くつの値段がいちばん高いから」のように「ウ」のくつに割引券を使うと値引きされる金額が一番大きくなると判断できているが、理由の記述が不十分であったり、誤りを含んでいたり、理由を書きいていなかったりする解答 62.6%

正答【記号】ウ【わけ】(例)

値引きされる金額は、定価×値引きの割合で求められる。どの商品に割引券を使っても、値引きの割合は20%で同じなので、定価が高いほど値引きされる金額も大きくなる。3つの商品の中で定価がいちばん高いのはくつなので、くつに割引券を使うと値引きされる金額がいちばん大きくなる。

(定価)	(値引きの割合)	(値引きされる金額)
(シャツ) (安い) 1900	× 0.2	= 380 (小)
(ズボン) ↓ 3900	× 0.2	= 780 ↓
(くつ) (高い) 5800	× 0.2	= 1160 (大)

定価 × 0.2 = 値引きされる金額

くつに割引券を使うと、値引きされる金額が1160円がいちばん大きくなる
 (くつの定価が高い) (くつの値引きされる金額が大きい)

↑ ↓
 定価が高いほど、値引きされる金額は大きくなる
 商品の個数が変わっても、商品の定価が変わってもいえること

この問題を解くためには、右図のように、3つの商品の値引きされる金額を求める式から、値引きの割合が一定であることに着目して、定価が高いほど値引きされる金額が大きくなることを理由として書くことが必要です。